

位置図



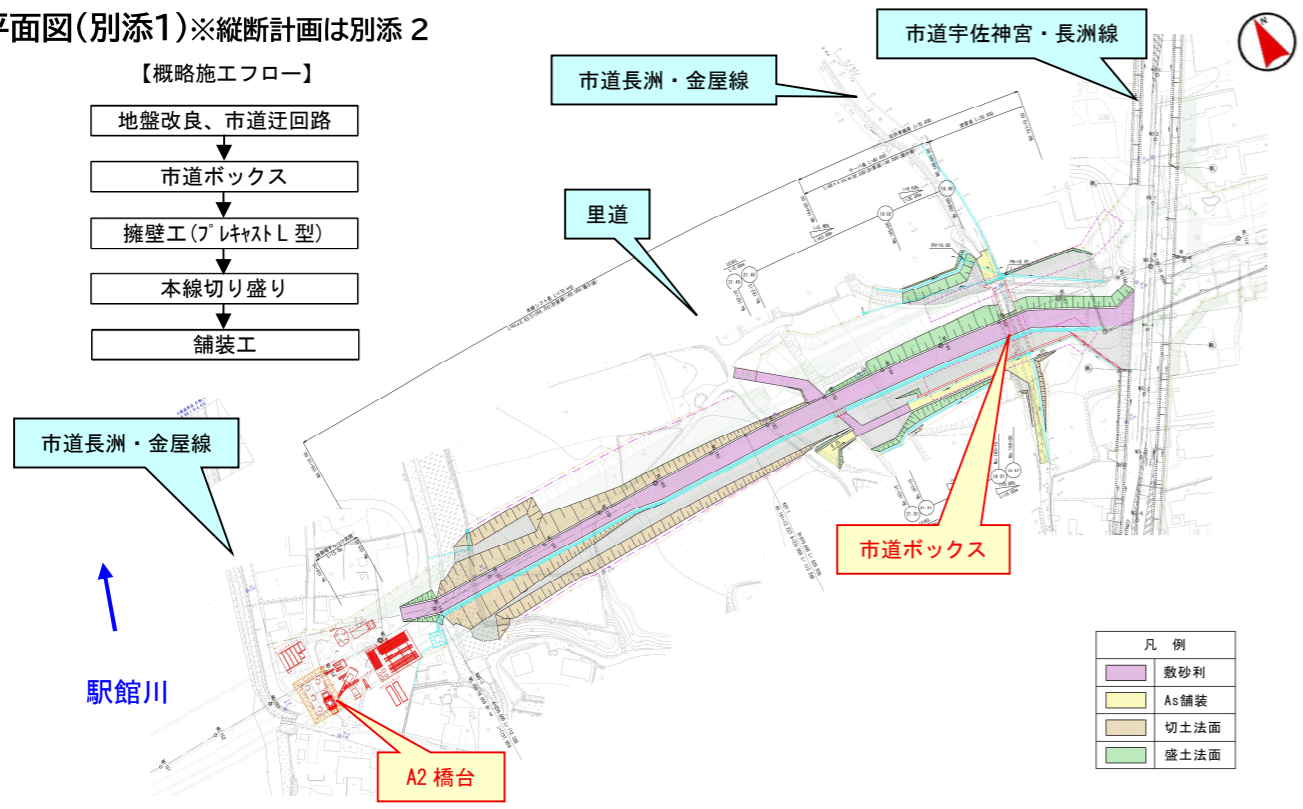
計画概要

- 市道宇佐神宮・長洲線から新小松橋 A2 橋台の工事用道路を設置 (市道宇佐神宮・長洲線の拡幅は先行して実施予定)
- 工事用道路の諸元(主な通行車両:32t 積低床式セミトレーラー、10t 積ダンプ)
 - ・計画幅員:W=5.0m~6.5m(敷砂利 t=10cm:W=4.0m~5.5m)
 - ・最急縦断勾配:15%

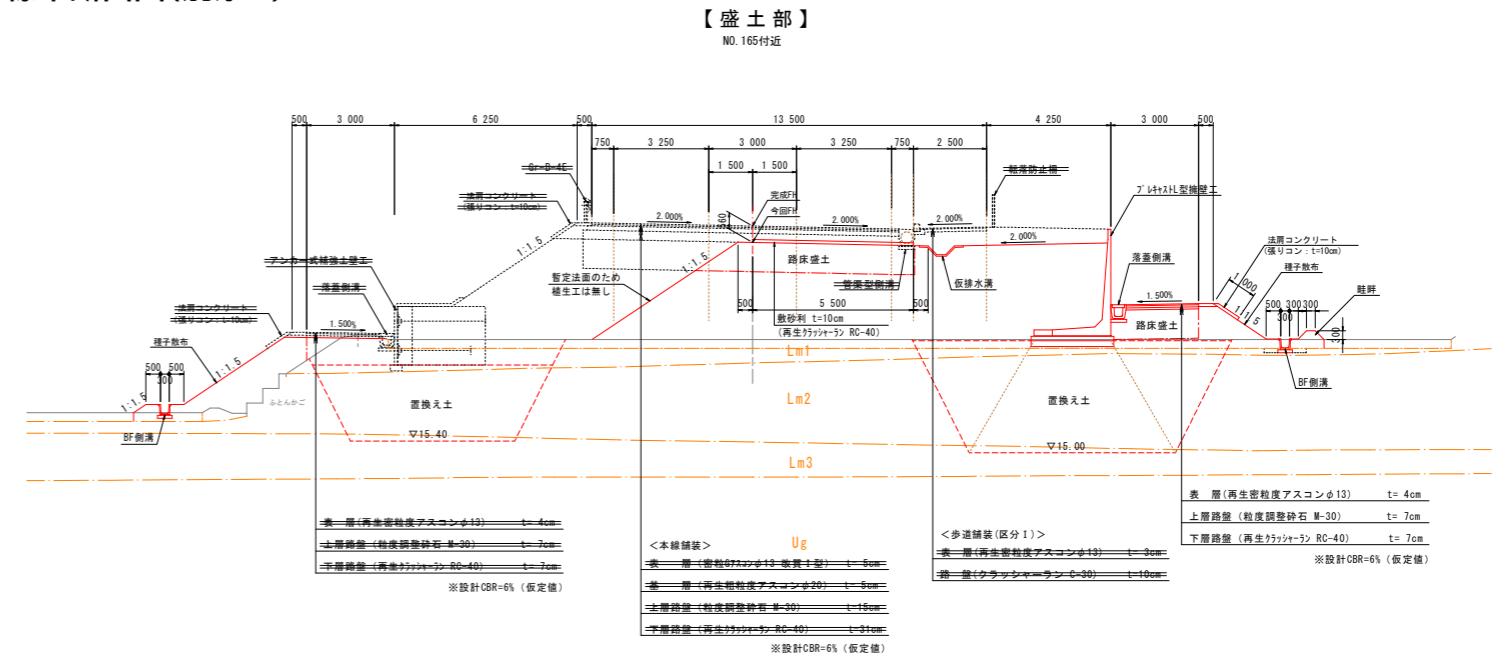
主な課題(施工上の制約、設計のコントロールポイント等)

- 完成形の施工への影響と既設用水路への影響を最小限に抑える
- 工事用道路の里道分断に伴う通行機能を確保する
- 橋台施工ヤードの確保が必要
- 市道ボックスの施工時に工事用進入路と市道迂回路が必要
- 市道ボックスと擁壁箇所は地盤改良(良質土置換)が必要
- 支障物件:水道管(市道長洲・金屋線)

平面図(別添1)※縦断計画は別添 2



標準断面図(別添3)



施工者からの意見および対応方針

○改善事項(意見)

- 工事用道路については、15%の区間は登坂可能であるが、わだち掘れが著しいためコンクリート舗装を設置する方が良い。
- 市道ボックスへの工事用進入路は上記と同様の理由で、アスファルト舗装にするか、幅員を 1.0m 広くしてわだち掘れを低減する対応をすると良い。

○確認事項(対応方針)

- 工事用道路の対応(Co 舗装) → 今後、設計協議にて検討する
- 工事用進入路の対応(As 舗装あるいは拡幅) → 今後、設計協議にて検討する